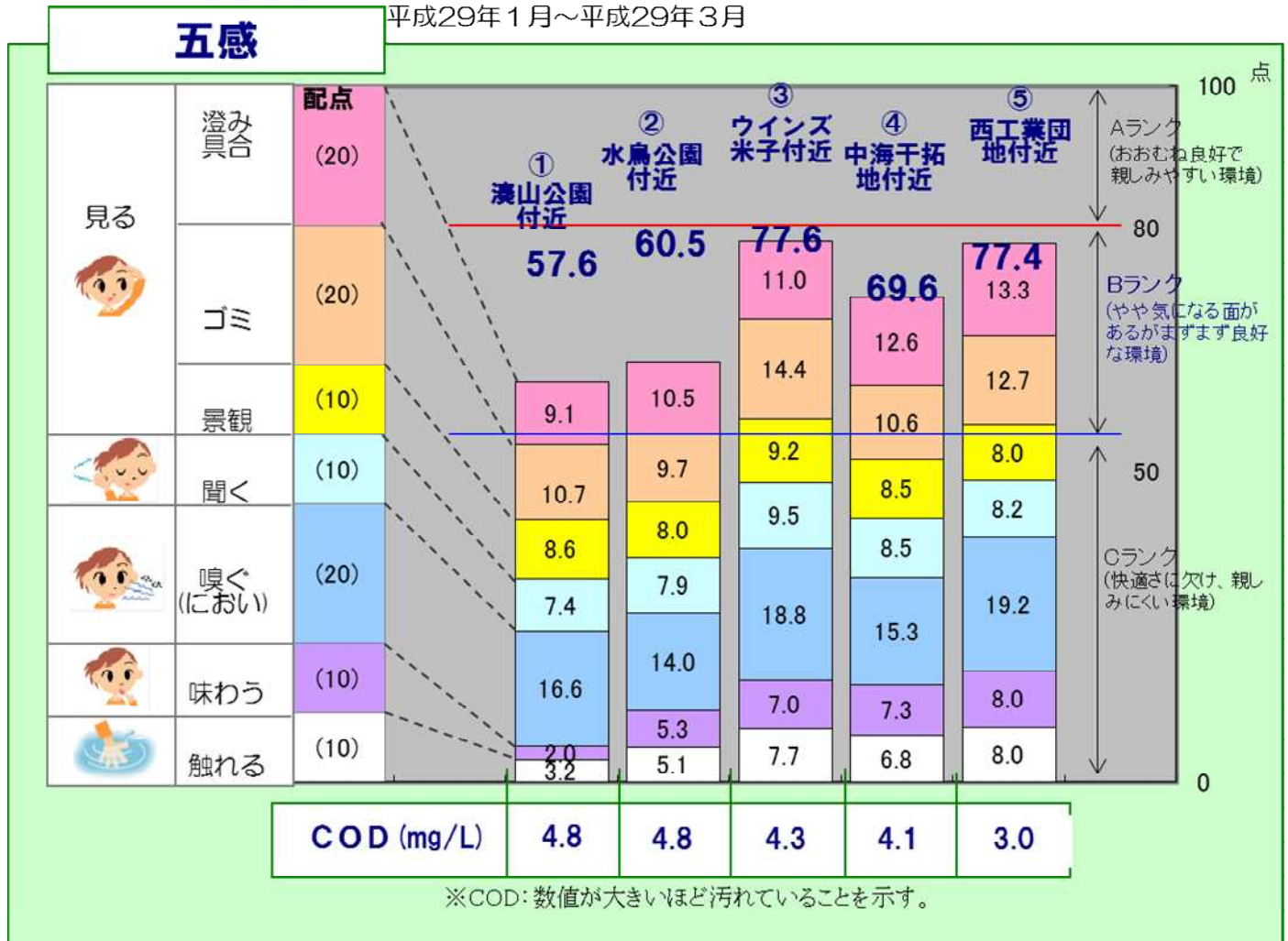


中海湖沼環境モニター通信

平成29年6月

第10期モニター中間集計 (第2四半期:平成29年1月~3月)

モニターみなさん、雪が多いなか調査いただき、ありがとうございました。第2四半期の結果を集計しましたのでお知らせします。










- 合計点は、5カ所すべてでBランクだった。
(最高点:③ウインズ米子付近 77.6点、最低点:①湊山公園付近 60.5点)
- 「触れる」は、第1四半期(10~12月)と比べ、全体的に悪くなっていた。

モニター感想・気づいたこと (ほんの一部です)

(※)提供いただいた写真は中海湖沼環境モニターのホームページに掲載しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=71255>

<p>① 湊山公園付近</p>	<p>【1月】・カモがたくさんいて、棧橋で日向ぼっこをしていたのか、キュッキュという鳴き声が聞こえた。深浦橋近くにハクチョウが2羽いて、きれいだった。 ・オオバンが数羽泳いでいた。先月よりも水鳥がまばらだった。</p> <p>【2月】・水位が低く、岸辺の岩が多く出ていた。その先は深緑の汚れた色をしていた。 ・安来の山々が雪化粧をしていてとてもきれいだった。降雪で空気や地面の汚れがとれているようですがすがしかった。 ・風や波の影響か、浮遊ゴミの多さが目立ち、湖水の濁りも気になった。 ・景観はスツと奥まで見えて良かったが、地面に流木が多かった。</p> <p>【3月】・水位が低く、岸辺の岩はほとんどむき出しになっていた。カモの群れがキュッキュと鳴き声をあげていた。ゴミは岸辺に木片がある程度だった。 ・中海の様子は前月と大きく変わりはないが、遊歩道をウォーキングする人が増えてきた。 ・水鳥が多数いた。気温が上がり、公園でこどもたちが元気よく遊んでいた。 ・黒い水鳥が15くらいの団体でプカプカと気持ち良さそうに浮かんでいた。</p>	
<p>② 水鳥公園付近</p>	<p>【1月】・気温が低く、弱めの雨が降っていた。波はあまり高くなく穏やかだったが、湖岸沿いの水は濁っていた。湖上にはキンクロハジロ、ホオジロガモ等のウミガモ類が約300羽いた。 ・湖面にカモはみあたらなかったが、ハジロカイツブリが潜水していた。</p> <p>【2月】・キンクロハジロなどのカモ類が50羽ほど水面に浮かんでいた。 ・強い西風で水がにごり、湖面は荒れていた。ゴミ等の状況に変化はない。 ・水面の濁りが有機物(プランクトンなど)の色ではなく無機物(砂、泥)の色のような色だった。 ・水はにごり気味で、波打ち際が泡立っていた。カモが少し増えていて、冬にかけてみられるホオジロガモの雌が2羽、湖岸近くを泳いでいた。</p> <p>【3月】・50羽のカモ類が湖面に浮かび、岸辺ではゴカイが泳いでいた。風は強く波は弱かったが、水はにごり透明度及びCODの数値は悪かった。 ・ヒバリの声がよく聞こえ春めいてきた。コハクチョウも数羽しか残っていなかった。水温が上がり、藻が繁殖し、湖水の透明度も落ちてきた。 ・潮位は上がっている。米子湾では赤潮(鞭毛類)が確認されているが、水鳥公園付近では確認されなかった。 ・晴れていて、風はあまり強くない、湖面にはほとんど波がたっていない。湖面にバンの仲間が多かった。ヒバリが鳴きながら飛んでいた。 ・湖面には多くの水鳥が羽を休めていた。</p>	
<p>③ ウインズ</p>	<p>【1月】・湖岸にカモ類が約40羽エサをついばんでいたが、足音に驚いて一斉に向かって飛んでいった。15m沖まで湖底の白い砂地が確認できた。 ・水は少しにごって見えるが、緑と茶色の海藻がよく見えた。カキのような貝が岩についていたのも見えた。</p>	

<p>③ ウインズ米子付近</p>	<p>【2月】・赤っぽい海藻が大量に湖岸付近に漂っていたが、湖底の白い砂地が点々と見えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック系の生活ゴミの漂着は減り、ほとんどのゴミはヨシや竹、樹木の枝などの自然のものが目立った。 ・綿雲の切れ間に青空が覗き、日差しがさざ波に輝いて美しかった。 ・強い西風で松江方面から白波が押し寄せ湖岸を洗っていた。湖面が通常より沖合2mまで下がっていた。 ・雲の合間から夕日がこぼれ、海の上を照らしていた。遠くの家々にも夕日が届き、寒いが美しく風情がある。カモが20~30羽ゆらゆらと！ <p>【3月】・大山の頂上付近は一部雲に覆われていたが、残雪が太陽に照らされて輝いていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日はまだ白い大山も三平山も見通せた。 ・沖合 50m に 100 羽以上の水鳥が群れていた。 ・カモ、ウはあまり見当たらなかった。トンビがぐるりと円を描きながら飛んでいた。 	 
<p>④ 中海干拓地付近</p>	<p>【1月】ゴミは相変わらず風や波に打ち上げられた木材や生活ゴミが多かった。湖水はきれいで臭気や騒音もなく穏やかで、沖合に2隻の釣り船と岸辺近くにたむろする水鳥が中海の景観を風情あるものにしていった。</p> <p>【2月】・数日來の風雪強風のためか湖水、湖岸は汚れていたが、遠景には貨物船が航行し岸辺には水鳥を見られ風情があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干潮になりはじめた時間帯だったためか、満潮時に花粉のような浮遊物がたまっていた。 ・海面が鏡のように穏やかで水鳥が数羽のんびり浮かんでいたが、岸辺の水面は淀んだ感じでごっていた。 <p>【3月】・ゴミ等の浮遊物はなかったが、黒くにごっており透明度が悪かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漂着ゴミの量に差はなかったが、オレンジ色のネットのようなものを初めて観察した。 ・青空の下、中海と周囲の景色が溶け込み風情ある景観であった。 	 
<p>⑤ 西工業団地付近</p>	<p>【1月】湖水の透明度がもっとも上がる時期になり、1m50cmほどの湖底がはっきり確認できた。</p> <p>【2月】・水温が 8.0℃とこの時期にしては高く、雪解け水はまだ流入していないようだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り人、釣り船なし。水鳥 100 羽以上。西風が非常に強く寒いが、眺めは最高。 <p>【3月】・風がなく快晴のため眺めは最高。特に海面がきれい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月も下旬になり、水位が少しずつ上がりはじめ今回の調査では先月の調査時より 30 cmほど上昇していた。 	

中海・宍道湖一斉清掃

6月11日に、米子市の湊山公園、境港市の西工業団地ほか、鳥取県、島根県内の会場で、中海・宍道湖一斉清掃が行われました。

6月の環境月間にあわせ、ラムサール条約の趣旨である「環境の保全」と「賢明な利用（ワイズユース）」について住民のみなさんに関心をもってもらっていただくことを目的に行っています。

ラムサール条約が締結された平成18年度から両湖で同じ日に行い、今回で12回目となりました。

当日は各会場とも団体や企業、御家族で多くのかたに御参加いただき、あわせて4.4トンのゴミを回収しました。ごみの多くはヨシや流木で自然のものですが、腐敗すると水質の悪化の原因となります。より沢山の方に御参加いただき、中海の水質浄化と景観保全につなげていきたいと思っております。



境港会場の様子



境港会場の様子

中海川柳（武良銀茶さん）

中海湖沼環境モニターに御協力いただいている武良さんは、5年ほど前に退職後の趣味として公民館の川柳教室に参加されたのをきっかけに川柳を始められ、以降、同人誌やコンテストに投句され、「いい夫婦川柳コンテスト」ほか、多数入賞されています。

雅号の「銀茶」は、ハゼ科の魚チヂブの地方名「ギンチャ」に、いぶし銀の「銀」、俳人、柳人の雅号によく使われる「茶」の漢字をあてて名付けられたそうです。

湖沼環境モニターの調査結果とともに、中海に関する川柳をお寄せいただいています。ここにその作品を紹介します。

人間に警鐘鳴らす中海（なかのうみ）

こどもらの笑いが絶えた中海

中海の安否を気遣いもう五年

中海もCODを憂う春

中海に二匹の海月（クラゲ）空に月

中海を今日もいじめる人がいる

ありがとうございました。

武良さんの中海への思いが伝わってきます。

これからも御投句をおまちしています。